

主な記事

- 2面 保険審査通信
- 3面 主治医の意見書セミナー
- 4面 国際高齢者年ウオーケイイベント
- 5面 おサル先生の在宅医療入門
- 7面 栗野先生のぶらり石川

今月の会員数/916人(医科660人・歯科256人)

# 石川保険医新聞

発行所  
石川県保険医協会  
〒920-0902 金沢市尾張町1丁目9番11号  
尾張町レジデンス2F  
電話 (076) 222-5373 番  
FAX (076) 231-5156 番  
発行人 高松 弘明  
印刷所 ソノダ印刷株式会社  
購読料 1年間 5,000円 (〒共)  
(※本紙の購読料は会費に含まれます)



←遠藤明子さん



→広崎晃雄先生

## 創立25周年特別企画

# 第3回 ドクターズファミリーコンサート



←北山吉明先生と山本美沙さん



おなじみ司会の小森貴先生



勝木ゆう子さんと勝木育夫先生



ドクトル・アイランダースとフラダンス



出口裕子先生

九月二十三日(秋分の日)、石川県女性センターホールで、第三回ドクターズ・ファミリーコンサートが行われました。今年には保険医協会創立二十五周年の年にあたり、記念の会員作品展も同時に開催されました。

コンサートは常連会員、初出場会員、さらに会員の子弟の参加を得て、文字どおりファミリーコンサートの名にふさわしいものとなりました。

トップバッターは中学生の遠藤明子さん。しっかりとしたテクニクでヴァイオリンの独奏「チゴイネルワイゼン」でした。この難曲を素晴らしいテクニクで完璧に演奏され、アンコールも加わり大拍手の内に二部の幕が

降ろされました。三部はポピュラー部門で、「Kow's Gang」でした。久しぶりに聞く激しいビートに、眠っていた若い血が騒ぐ楽しい演奏でした。コンサートの最後は名物ドクトル・アイランダース(辻阪文夫先生、力丸修先生、吉村卓也先生、高松弘明先生)です。今年もいつものながらの楽しい演奏に加え、新しいアイデアとしてフラダンスとの共演が行われ、観客を大いに沸かせてくれました。アンコールの大拍手が起こったのは言うまでもありません。

ところでコンサートの恒例となった小森貴先生の名心交流が十分に行われた本当に楽しい秋の日でした。

二部の最初は高田睦子さん、宗知さん姉弟のヴァイオリン二重奏でした。三楽章にわたる長い曲を豊かな音色で演奏しました。次は北山吉明先生のテノール独唱で、懐かしいウィーンの歌が披露されました。特に山本美沙さんのメリウイドウのワルツは好評でした。クラシックの最後は出口裕子先生のヴァイオリン独奏「チゴイネルワイゼン」でした。

この難曲を素晴らしいテクニクで完璧に演奏され、アンコールも加わり大拍手の内に二部の幕が降ろされました。

三部はポピュラー部門で、「Kow's Gang」でした。久しぶりに聞く激しいビートに、眠っていた若い血が騒ぐ楽しい演奏でした。コンサートの最後は名物ドクトル・アイランダース(辻阪文夫先生、力丸修先生、吉村卓也先生、高松弘明先生)です。今年もいつものながらの楽しい演奏に加え、新しいアイデアとしてフラダンスとの共演が行われ、観客を大いに沸かせてくれました。アンコールの大拍手が起こったのは言うまでもありません。

心交流が十分に行われた本当に楽しい秋の日でした。



高田宗知さんと高田睦子さん



Kow's Gang (ドラムが中村耕一郎先生)

**お知らせ**  
コンサートの録画ビデオ (VHS) を先着10人の方に実費2,000円(送料込)でお送りします。お電話でお申し込みください。電話076-222-5373



## 会員作品展も同時開催

11人の会員から23点の作品が寄せられ、会員作品展も開かれた

## 医心凡語

▼今年の夏は非常に暑く、それが九月下旬まで続いた。異常気象を思わせる。そして、世紀末を思わせるようにトルコ、ギリシャ、台湾と大地震が軒並みに勃発した。阪神淡路大地震から四年である。台湾大地震はマグニチュード七・七、阪神淡路大地震の十倍のエネルギーであるという。悲惨な映像がテレビに生々しく写し出される。四年前の映像とダブってくる。日本の救助隊がいち早く派遣された。良かった。今後の復興に関して、日本の経験は貴重である。物的だけでなく精神的ケアも大切である。

▼九月下旬、地球環境問題を検討する権威ある国連環境計画が、今後最も深刻となる地球温暖化の防止は、おそらく手遅れであろうと、きわめて悲観的な報告をした。一九九〇年代後半の炭酸ガス濃度は過去最高であるという。世界中でエネルギーの使い過ぎなのだ。信号待ち車のエンジンストップだけでも炭酸ガス排出防止になるということで試みたこともあったが、いつの間にか止めてしまった。環境庁はわずか十秒のアイドリング中止でも有効であるとしたが、警察庁は交通渋滞を招くので好ましくないという。目先の利益のためにおろそかにされてきた環境問題を、真剣に、かつ速やかに考え実行する時がきている。自分自身、エネルギーの浪費は止めようと思ってる。

# 『保険審査通信』に寄せられた相談事例

## 保険審査通信 第126例

- 1. 国保 野々市町国保、1枚は退職者家族、もう1枚は一般国保
- 2. 年齢どちらも69歳
- 3. 平成11年6月診療分
- 4. 過誤連絡書の発行日 平成11年8月末日
- 5. 病名・診療開始日  
レセプト1 ■高脂血症 4.11.5、■慢性胃炎 5.1.13、  
■高血圧症 6.8.25..  
レセプト2 ■十二指腸潰瘍 6.1.6.24
- 6. 査定内容 いずれもリーゼ糖衣錠査定 (事由 適応外)
- 7. 査定に至った経緯と意見

いずれもまことに心外な査定である。8月初めに国保連合会より返戻通知がきて、上の2枚のレセプトと高血圧でメンビット(0.4)「一般名アルプラゾラム」を使っている例で、レセに書かれている(向)の内容を知らせよとの付箋が付いたレセプトが戻ってきた。これらの薬を使っても205円以下でレセには薬品名が記載されない。

一応リーゼ、メンビットの名前を書いて返したところ、翌月査定されたわけである。

そもそもこのようなマイナートランキライザーを慢性胃炎や高血圧に使用して当然と考えていた。日本医薬品集にも、リーゼの適応として、心身症(消化器疾患、循環器疾患)における身体症候並びに、不安・緊張・抑うつ・睡眠障害とあり問題があるとは思えないのだが...

現に同じ症例に同じ内容で7月も診療し、病名も変えずにレセを提出しましたが、全く返戻も査定もなかったようです。また保険者返戻による査定といった経験も皆無です。またそもそも205円以下でレセ記載不要のはずのレセを薬品名を記載させるためにわざわざ返戻するのもおかしいと思いました。

(メンビット(先発品名ソラナックス、コンスタン))については、レセの病名は、高血圧と慢性胃炎であり、適応は心身症(胃十二指腸潰瘍、過敏性腸症候群、自律神経失調)における身体症候並びに、不安・緊張・抑うつ・睡眠障害とあり、若干適応が狭いようですが、一般には胃炎や高血圧でも心理的要因の強い症例には日常的に使われていると思うのですが...もちろん再審査請求をするつもりです。

### <保険医協会のコメント>

高血圧症における、マイナートランキライザーの投与については、「高血圧症(心身症)等の病名を付ける」というローカルルール(平成10年10月社保・国保審査委員合同協議会結果:石川県医師会...10ページ30)があります。205円以下の薬剤で麻毒加算の算定があれば、審査の段階で処方内容を知りたくなることは人情としてはうなずけます。

返戻に至った過程は別にして、本例のような場合は、処方内容が判明してしまえば、前記ローカルルールによって、マイナートランキライザーが適応病名無しとして査定されてしまうこととなります。だまし討ちにあったようで腹の虫が治まらないというのが主治医の本音かもしれません。再請求時に、処方内容と同時に病名漏れとして、(心身症)を付け加えておけば査定されることはなかったのですが、良心的な保険医には20点以下に安心して、そこまで疑い深く保険請求している方は少ないかもしれません。しかし、保険診療が「契約診療」であることが、ことあるごとに前面に出てきている昨今の審査指導情勢では、ローカルルールを含めて、きめ細かな対応をしておく必要があります。

本例のように不可解な返戻のときは、再請求前に協会に相談していただければ、最善の結果を得られるよう検討していく体制になっていますので、是非ともご利用いただきたいと思っています。

# 納得いかない返戻、査定がありましたら、ぜひ『保険審査通信』にてお知らせ下さい。

## 『保険審査通信』はFAXのほか、E-mailでも大歓迎です。

事務局では『保険審査通信』に限らず、会員から送付された原稿はすべてテキストファイルに入力し直しています。このため、E-mailの原稿は大きく省力化になり、大歓迎です。ぜひ、E-mailでお送りください。

E-mail : ishikawa-hok@doc-net.or.jp

## 会員投稿

### 本紙前号(9月号)「保険審査通信第124例への反論を読んで」

9月15日の保険医新聞に載った会員からの意見を読みました。もっともらしいな、と思いながらも何か得体のしれない違和感を感じましたので、その違和感について考察してみました。

レセプトとは、医師が自分の信念に基づいて診療した内容をそのまま記載して提出し、それに対して医療費を請求するものです。その審査は本来医師がすべきものだと思うのです。保険者側であっても、やはり医師がすべきものであり、現実、医師ができないので素人の事務員や削り屋に委託しているのでしょう。ですから、第一線の医師は、初めから事務員や削り屋に審査されるのを意識してレセプトを記載する必要はないのです。

診察の結果、診断がつかず症状名を記載せざるをえないことはままあります。病名の記載が必ず必要だとすると、例えば「不明熱」の症例では、疑われる病名をすべて記載しなくてはならなくなります。「どこか部位のわからない癌、いろんな膠原病、結核や感染性心内膜炎などの感染症など」レセプト1枚ではとても書ききれません。普通は「不明熱」として、種々の検査をしてもそれで審査は通るのではないのでしょうか。ただし、特殊な検査などは注記の必要があるとは思いますが。

保険者側で審査するものは、事務員であろうか削り屋であろうか、医師と同じ土俵の上で審査すべきものと思うのです。分からなければ保険者側で分かる人を確保しておいて、その人が審査すべきだと思います。少なくとも医師の間では常識と思われる事項については症状名の記載であっても返戻すべきではないと考えます。

安田 紀久雄  
〒929-1604 石川県鹿島郡鹿西町能登部105-4-1  
TEL 0767-72-2027 FAX 0767-72-2573  
ymc@land.hokuriku.ne.jp

### ——『保険審査通信』へのご意見をお寄せください——

『保険審査通信』に関して、ご意見・ご要望・ご質問など、どんなことでも協会までお寄せください。保険審査の改善のための意見交流ができれば幸いです。(保険医協会)

# 介護保険・主治医の意見書セミナー 業者への監視体制強化を

理事 小川 滋彦 (金沢市・内科)



85人が参加して開かれた介護保険・主治医の意見書セミナー

九月二十六日、金沢都市には八十五人もの大勢で開かれた「介護保険が参加した。『医師の立場・主治医の意見書セミナー』(医学的見解)をいかに介

護とドッキングさせるかを皆さんで考えていきたいと思います」という高松会長のあいさつで始まった会は、喜多理事の司会のもと、(一)城北クリニック所長・大川義弘氏による「介護認定審査会における主治医意見書の取り扱い」、(二)かとうクリニック院長・加藤佐敏氏による「精神医学からみた老人性痴呆症の診断」、そして特別報告として(三)呆け老人をかかえる石川家族の代表・小坂直信氏による「呆け老人をかかえる石川家族の立場から要介護認定を考える」の三講演が行われた。

## 持論

来年の通常国会で、急性病棟・慢性病棟の区分け点数と施設利用料徴収(療養環境加算廃止)、専門医資格によるランク分けと差額徴収及び高額療養費制度の改定などがある。

## 許すな!「医療抜本改革」

あらゆる連携で  
立ち向かおう

来年の通常国会で、急性病棟・慢性病棟の区分け点数と施設利用料徴収(療養環境加算廃止)、専門医資格によるランク分けと差額徴収及び高額療養費制度の改定などがある。すなわち地域医療計画上の必要病床数算定方式を見直し、療養型病床群の約十九万床が介護保険専用施設に移行される。一般病棟を急性期と慢性期に区分するので、人員、設備、在院日数、保険点数の条件で急性期病床は急減しよう。広告規制緩和、情報開示は医療・福祉法人の巨大複合化をもたらし、営利企業参入を促すだろう。以上のような診療報酬と医療

**囲碁解答**

5が好手で無条件白死になります。

(問題は8面にあります)

の他にも主治医意見書に多くが期待されていることを述べた。すなわち、①一次判定の基本調査項目に無い項目が主治医意見書に設けられており、ここをしつかり書くことよって一次判定を変えようこと、②二次判定の「状態像の特定」に際して主治医意見書が「効く」こと、③四十歳以上六十五歳未満の特定疾病の患者を「救える」のは主治医意見書だけであること、などである。そして、その主治医意見書は必ず「特記すべき事項」の覧に「介護に支障のある(一)麻痺である」と「介護に結びつけて」記載しなければ、二次判定で「報われな書い」ておいてもらうことが理想的であり、当日配布資料をコピーして利用することを勧められた。また、三つの単語を五分後に復唱させる短期記憶障害のチェックで痴呆を簡便に診断できることも紹介された。

石川県保険医協会

### 保険医年金

募集締切迫る!!

10月25日(月)まで

詳しくは案内チラシをごらん下さい。

●お問い合わせ・お申し込みは協会事務局へ  
TEL 076-222-5373

◎募集期間中は担当生保の募集員が会員医療機関を訪問させていただきます。

### 1998年度グループ保険配当金は翌年度に繰り越します

保険医協会の3本柱の共済制度の一つ、グループ保険には会員511人(会員加入率55.6%)、配偶者308人の加入があります。1998年度には保険給付者7人、8,600万円の保険金支払いがあり、1998年度配当率は3.2%、配当金額3,223,030円となりました。

この配当金額では、グループ保険加入者819人(配偶者を含む)に還元しても、振込手数料を差し引くと僅かな金額にしかなりません。このため当会理事会では、今年度配当金は加入者に還元せずに協会預かりとし、来年度以降の配当金に合算して送金することにしました。加入者各位にはご了承をお願いします。

石川県保険医協会  
経営・共済部長 井沢宏夫

法の変更は、当然ながら公的医療費負担と社会保障の縮小、市場原理の導入に連がり、わが国の医療・福祉は大きく変質していくと思われる。そして、かかる情勢のもとで、われわれ医療機関は更なる努力が必要となる。外来・在宅・入院機能と地域機能の向上、医療連携・福祉連携の強化、医師自身の力量強化である。

来春に向けて、会員・協会の「医療福祉改善運動」として、診療報酬改定での不合理・矛盾の是正要求、患者負担増の反対、介護保険制度の改善提言などがあり、会員署名と患者・国民署名運動が予定されているので、皆さんの多大なご協力を期待している。

方である!とわれわれ医師に大きな期待を寄せられる。さらに、民間業者に責任を「丸投げ」し、福祉を市場原理のコントロールに任せようとする介護保険の抱える危険性を「消費者が未熟なマーケットで市場原理は働かない!」と厳しく指摘し、サービスマスターに指摘し、サービスマスターに対する機動力を持った監視体制(クレームに即座に対応

国際高齢者年・WHO世界と歩こう  
10・2ウオークイベントに参加して

すべての年齢のための社会をめざして

石川生活協同組合職員 升 幸宏

十月二日(土)、石川県生活協同組合連合会と国際高齢者年・石川NGO(事務局長・石川県保険医協会)の主催で「国際高齢者年WHOウオークイベント」が行われました。当日は二時から兼六園下と、金沢市南町の松ヶ枝緑地公園から石川県中央公園に向って二つのグループが歩きました。

十月二日(土)、石川県生活協同組合連合会と国際高齢者年・石川NGO(事務局長・石川県保険医協会)の主催で「国際高齢者年WHOウオークイベント」が行われました。当日は二時から兼六園下と、金沢市南町の松ヶ枝緑地公園から石川県中央公園に向って二つのグループが歩きました。

このほか教育会館では、高齢者の取材をライフワークにしている田邊順一写真展や「国際高齢者年紹介コーナー」「介護保険・落書きコーナー」など、中央公園では「介護保険に関するブックコーナー」も行われました。

十月一日より介護保険の申請もはじまりました。「介護保険・落書きコーナー」にはいろいろな不安や厚生省、自治体に対する参加者の思いが書かれています。

人間は、だれもが年をとる高齢者となります。国際高齢者年のテーマ「すべての年齢のための社会をめざして」、地域の福祉、日本人とのふれあいがなくと生きていけない」というお話を、人と人とのつながりを大切にし、年をとっても一

人ひとりが自立し、安心して生きていける社会をつくらないと、と、参加者全員が思える内容でした。

兼六園下からは医療生協の組合員を中心に黄色の傘帽子をかぶり行進に参加しました。歩きながら沿道の方に一緒に参加を呼びかけました。中央公園前で(松ヶ枝出発グループと)合流した隊列は百二十人規模にもなり、行進の輪が大きくなった瞬間、大きな拍手で盛り上がりしました。

ウオークイベントのゴールの教育会館では「老親介護」こんなときどうする」というテーマで川島淳子さんの講演がありました。ご自身の義母の介護体験から介護の極意、自治体や地域の情報の集め方、介護保険や介護自体の考え方を話していただきました。「人間は人とのふれあいがなくと生きていけない」というお話を、人と人とのつながりを大切にし、年をとっても一

松ヶ枝緑地公園からはピエロに仮装した生協職員が歩きました。他に天使に仮装した方、高齢者のお人形歩きをしました。他には、高齢者年のウオークイベント

このほか教育会館では、高齢者の取材をライフワークにしている田邊順一写真展や「国際高齢者年紹介コーナー」「介護保険・落書きコーナー」など、中央公園では「介護保険に関するブックコーナー」も行われました。

十月一日より介護保険の申請もはじまりました。「介護保険・落書きコーナー」にはいろいろな不安や厚生省、自治体に対する参加者の思いが書かれています。

人間は、だれもが年をとる高齢者となります。国際高齢者年のテーマ「すべての年齢のための社会をめざして」、地域の福祉、日本人とのふれあいがなくと生きていけない」というお話を、人と人とのつながりを大切にし、年をとっても一

人ひとりが自立し、安心して生きていける社会をつくらないと、と、参加者全員が思える内容でした。

兼六園下からは医療生協の組合員を中心に黄色の傘帽子をかぶり行進に参加しました。歩きながら沿道の方に一緒に参加を呼びかけました。中央公園前で(松ヶ枝出発グループと)合流した隊列は百二十人規模にもなり、行進の輪が大きくなった瞬間、大きな拍手で盛り上がりしました。

ウオークイベントのゴールの教育会館では「老親介護」こんなときどうする」というテーマで川島淳子さんの講演がありました。ご自身の義母の介護体験から介護の極意、自治体や地域の情報の集め方、介護保険や介護自体の考え方を話していただきました。「人間は人とのふれあいがなくと生きていけない」というお話を、人と人とのつながりを大切にし、年をとっても一



梶井幸代先生に紹介される記念講演講師の川島淳子さん(右)



田邊順一氏の写真展示コーナー

韓国事情見て歩き-第17話-  
プロンスエ・カッチ・カジヤ



有川功ドクターの  
韓国訪問記  
(24回シリーズ)

戦がソウルのチャムシルスタジアムで行われた。技術に優る日本五輪代表が韓国代表の猛攻を交わし、第一戦の国立競技場での勝利に次いで今度は赤一色の大観衆の中でも勝利した。



スポーツソウル紙の見出し「韓国サッカー最後に日本に首根を掴まる〜刺された」「精神力失踪 0-2完敗 受傷(原文の直訳)」記事は韓国の完敗と断じ、監督の采配と選手の緊張の欠落を批判している。

去る九月二十七日の夜、シドニー五輪サッカーアジア最終予選に向けて壮行試合の対韓国第二

観戦席は全周赤一色と思いきや、良く見ると電光掲示板側の真反対の一角にバウムクー

「日本側のサポーター」が見えた。観戦席にはプロンスエカッチカジヤ

後半戦では韓国側の怒濤のごとき攻撃が続くが、シュートがいま一つ決まらない。韓国側サポーターは次第に、エキサイトしてきた。韓国側サポーターのイギョラ(勝たい十一月一日である。

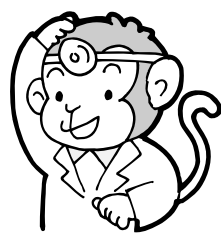


日本人サポーター応援席から勝利決定の瞬間を写す

「フランスへ一緒に行く」との掛け声があった。グラウンドには機動隊が観衆の方を向いて横列に一周して

後半戦では韓国側の怒濤のごとき攻撃が続くが、シュートがいま一つ決まらない。韓国側サポーターは次第に、エキサイトしてきた。韓国側サポーターのイギョラ(勝たい十一月一日である。

夕方、李載哲医師、李相録医師やその他の人たちが宴席を設けてくれ、日本チームの勝利を祝ってくれた。その日、初孫拓己が生まれた。忘れがたい十一月一日である。



# おサル先生の④ 在宅医療入門

小川 滋彦(金沢市・内科)

## 「痴呆老人の入院は大変だ!」と 「病診連携は甘くない?」の巻(その2)

おサル先生は因果応報を感じている。

おサル先生がB病院勤務医時代、B病院はちょうど急性期病院へと転化するために、平均在院日数の短縮が至上命令となっていた。ある日、OBのN先生が担当する特別養護老人ホームから蟹山さんという八十歳の女性が発熱のため紹介されてきた。腹部エコーにて両側の軽い水腎症があり、泌尿器科で精査したところ、慢性膀胱炎がひどく、その炎症が尿管開口部まで波及して水腎症を来したらしい。蟹山さんは少し痴呆があり、徘徊するため看護婦から要マークだと言われていたが、幸い抗生剤を静脈投与して炎症所見が改善すると熱も下がり、水腎症も消失したため、おサル先生は一週間ほどで追い出すように退院させてしまった。案の定、N先生から「根本的な原因が改善していないのにそんなに早く退院させていいのかい」とクレームの電話が入ったが、「うちはもう老人病院ではないんです。今度なったらその時はまた考えましよう」とおサル先生は先輩への遠慮もどこへやら、強気に切り返した。

おサル先生はあの事件以来、患者さんよりも何よりも看護婦さんの顔を伺うようになってしまったのだ。ところが、今は全く立場は逆転してしまった。病院勤務医の時に嫌っていた痴呆老人を、いかに入院させてもらうかで頭を悩ませていた。冷たくあしらったN先生や蟹山さんのことを思い出しては申し訳ない気持ちでいっぱいだった。

五日で退院を余儀無くされてきた九十六歳のカニ江ばあさんは、三ヶ月ほどはそれなりに元気に過ごしていたが、それ以来めっきり徘徊の習慣がついてしまった。腰が直角に曲がっているほどなので、家の外に出ることはできないが、夜な夜な掛け軸にぶら下がった裸になってオシッコをまき散らしたり、ずいぶん手がかるようになってしまった。脳代謝改善剤を投与していたのだが、息子さんから「副作用のない薬を出して下さい」と言われてしまい、ボケがひどくなつたのはおサル先生の薬のせいだといわなければならぬ。

カニ江ばあさんはグツタリとして元気がなく、顔色も心なしか青白い。こんな便が出ました、とお嫁さんがオムツにとっておいだした。は明らかなたール状態だ。上部消化管出血でプレ・ショック! ただちに入院するようにすすめるが、息子であるご主人が夕方になって出張から帰ってくるまで私一人で入院の判断はできません、とお嫁さん。やむなく血算をとって点滴をして急場をしのぎ、とにかく入院すべきであることをもう一度念押しして、自己院に戻った。

夕方の診療が終わっても、カニ江さん宅から何の連絡もないため、こちらから電話すると、ご主人がはっきりしない様子で「入院してもまわりに迷惑をかけるので、このまま家でみた」とのこと。よほど前回の入院がこたえたらしい。おサル先生は「年寄りとはいえ急性疾患なので、家で失血死というわけにもいきません。いつでも入院の手配はしますから」と電話を切った。

翌日も入院をすすめるおサル先生に家族は応じず、日中に時間がとれなかつたので、点滴は診療が終わった後の夜に二時間かけて行った。おサル先生はカニ江ばあさんの手をそと押し返していたのだが、その間にカニ江ばあさんにまつわるいろいろな話を聞くことができた。カニ江ばあさんは若くして夫に先立たれてから、女手ひとつで八人の子どもを育てたこと。他の七人の兄弟たちがカニ江ばあさんの介護に音を上げて、結局末っ子であるご主人が引き取ったこと。末っ子のご主人は心底、母を尊敬し大事にしていること。この時、初めておサル先生はこの家族と打ち解けた気がした。

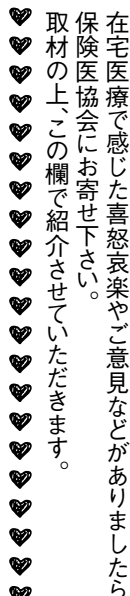
結局、もう一回だけですが、あすには入院してもらいますよ、といながらおサル先生は点滴を持って通う! です。この観点から「在宅痴呆老人の入院を考える」(仮題)というテーマで『石川保険医新聞』新年号特別企画として座談会を企画したいと考えています。

今回、二回にわたる『痴呆老人の入院は大変だ!』と病診連携は甘くない?の巻』を書いてみて、痴呆老人に入院治療が必要となった場合、いろいろな問題があることに気がつきました。また、一口に「病診連携」と言っても、若くて健康な人が突然、心臓が悪くなった、胃から出血した、などの場合はそれぞれ「循環器内科」「消化器内科」に紹介すればいいわけですし、病院も喜んで患者を引き取ってくれるでしょう。しかし、痴呆老人に限らず、基礎疾患が多岐にわたる虚弱老人、たとえば片麻痺で褥瘡があり呼吸障害のある人が、消化管出血を来した場合は、どの科に入院させてもらうかは専門分化の進んだ病院の場合、特に難しい面があるように思われます。

石川県保険医協会の今年のテーマのひとつは「入院医療(病院医療)」と在宅医療(開業医医療)をバリア・フリーにしよう! です。この観点から「在宅痴呆老人の入院を考える」(仮題)というテーマで『石川保険医新聞』新年号特別企画として座談会を企画したいと考えています。

在宅医療で感じた喜怒哀楽やご意見などがありましたら、保険医協会にお寄せ下さい。取材の上、この欄で紹介させていただきます。

### 在宅医療に関する アンケートをお寄せください。



公費負担医療を網羅。窓口事務に必読の本。

# 新刊 公費負担医療等の手引

1999年9月版  
体裁/B5判328頁 定価/4,000円  
会員特価/2,000円(送料共)

『公費負担医療等の手引』が2年ぶりに改訂されました。主な内容は下記のとおりです。窓口事務に必読のテキストです。上記の要領にて会員特別価格で斡旋します。

#### 〈主な内容〉

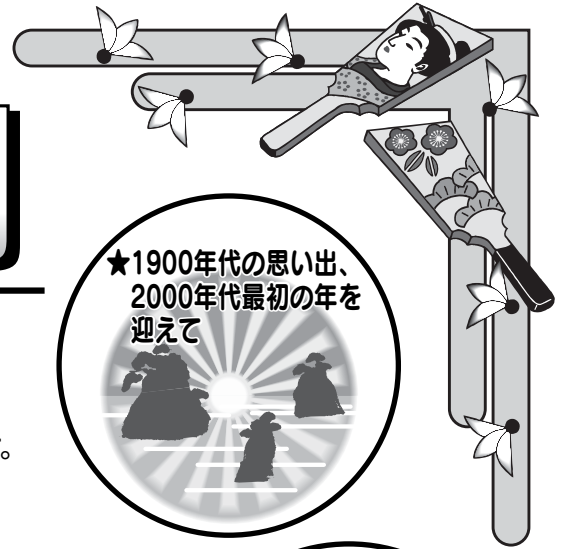
- 五十音別公費負担医療適用疾患一覧
- 健康保険/日雇保険/船員保険/国民健康保険/退職者医療  
薬剤一部負担、医療保険の諸給付  
高額療養費/入院時食事療養/療養費の支給/傷病手当金/お産に伴う給付/埋葬料/資格喪失後の給付
- 医師法/医療法/老人保健法/生活保護法/すべての公費負担医療等の諸制度  
結核予防法/特定疾患医療/小児慢性特定疾患/精神保健福祉法/感染症予防/医療法/更生医療/育成医療/予防接種被害救済制度/医薬品副作用被害救済制度/公害医療他
- 労災医療/交通事故の医療/外国人の医療/災害医療

〈別表〉 公費負担医療制度一覧  
各県の福祉医療制度実施状況一覧

◇発行 **全国保険医団体連合会**  
◇申し込み **石川県保険医協会**  
電話 076-222-5373 FAX 076-231-5156

# 2000年『石川保険医新聞』新年号 原稿募集のご案内

1999年も、残すところあとわずかになりました。保険医協会では、新しい年を迎えるに当たり、『石川保険医新聞』2000年新年号の編集を始めました。  
取材記事を充実させ、特別企画にも力を入れます。  
そしてなにより大切にしたいのが、たくさんの会員の先生・ご家族の方々にご登場いただくことです。  
テーマは自由です。ぜひ、先生・ご家族の方々の原稿をお寄せください。



医療、福祉に関することや  
趣味・旅行記など、  
ぜひ、お送りください。



- テーマは自由です。
- 字数は800字程度～最長1000字
- 原稿締切は12月3日正午・必着

お問い合わせは  
保険医協会事務局の  
杉野までお願いいたします。

## 原稿の送り方

- 手書き原稿の場合 …… 原稿用紙などいっさい規定がありません。FAXや郵送でお送りください。
- ワープロ原稿 …… できましたら、E-mailにてお送りください。編集作業が大幅に省力化できます。

## 石川県保険医協会 『石川保険医新聞』編集部

〒920-0902 金沢市尾張町1丁目9番11号  
TEL (076) 222-5373 FAX (076) 231-5156  
E-mail : iskw\_sugino@doc-net.or.jp

— 掲載させていただきました場合は、薄謝をお送りいたします。 —

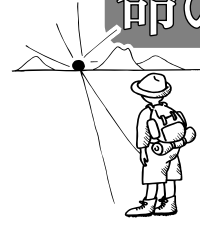
### 会員特別寄稿

## シリーズ 命の旅 ⑭

## 縄文番外編(5)

### 国旗と国歌②

希望  
(ペンネーム)



国旗・国歌を考えると、はしていい。ただ、傍に、その先頭に立つのは、観するか、あるいは罵り常に戦争を知る世代であらう。官房長官は戦後の総決算にと、法案の成立に執念を燃やした。そしてそれに反対する側もまた、同じ時代を生き抜いてきた人たちである。両極端にあるように見えながら、両者に共通するのは青春時代への抜きがたいう追憶と、感傷にあると

言えは言い過ぎだろう。ラテン語で、学校のことを「スコラ」と言う。スコラの原義は、「余暇」である。もともと、戦争も教育も、余暇の産物である。生産の余剰の上から、解放されたという呪縛から、解き放たれている世代にすべてを預ければよい、そう思う。無論、そのためには、多くの議論の材料が必要である。戦争の中で練り広げられた多くの惨劇も、悲しみも、彼らに語らなくてはいけない。「南京事件」「慰安婦問題」文部省の学習指導要領の元に、その多くが子どもたちから隠されている。歴史の重みを教科書という、ただ一片の情報からしか学び得ない世代。その彼らに私たちが何も伝えようと

だ。自分たち一人ひとりが国を支えていると、子どもたち自身が自覚している。臓器提供も、エイズ問題も、子どもたち自身の問題なのである。知り合いの家に滞在しているロータリーの留学生は「日本の高校生は子どもだ」と言う。イスラエル人である彼には、平和と物質を当然のように享受する日本の高校生は異星人のように映ったに違いない。



今、何が大切か。国旗・国歌を論ずることは「日本を、日本人を考へる」ことである。偏差値を競う以前に、この議論こそが明日の日本を救うかもしれない。



大海西山遺跡にて

一九九九年九月九日と九の字が並ぶ木曜正午過ぎ、残暑三十度を超える好天に誘われて、『ぶらり石川』の取材活動に出かけることになった。

午前の診療を終えるやいなや杉野事務局員のお迎えの車に飛び乗り、一路高松町へ、と思ったが、二人とも昼食を食べ損ねていたので一歩手前の七塚町で途中下車。知る人ぞ知るダイナミック魚料理の店「やまじゅう」に立ち寄った。大盤振る舞い、次から次へと運ばれる魚料理の数々を平らげて、いざ、高松町へ。

まずは情報収集である。高松町役場では、取材先への行程を訪ねると五く六人の職員が地図や資料をもとにあれやこれやのご親切。厚き人情に触れ、これまではただ通り過ぎるだけであった高松町の印象が、心温かき町として脳裏に焼き付くことになった。その後の取材はロス無く進み、予定より一時間も早く帰路に就き、途中、コナツツミルクのアイスクリームの珍味に出会う余裕が与えられたのは、ひとえに高松町役場のおかげと、感謝の意を述べておきたい。

最初に訪れた地は、大海西山遺跡。駐車場からの小ハイキングである。ゴルフ場のような芝生が敷き詰められた丘陵地帯に、千八百年前の弥生人の生活の跡が甦る。発掘調査によって十九棟の竪穴式住居と塚や土塁の存在が明らかになり、今は、遺跡公園として整備



口銭場跡で偶然見つけた鶴彬 (つる・あきら) の句碑

腹ごなしにちようどいい弥生時代へのタイムトラベルも終わり、いよいよ、東善作 (あずま・せんさく) 生誕の地に迷うことなくたどり着くことができた。

思い起こせば遙か六十三年前、すなわち昭和十一年の夏期休暇のころであった。私と学友富田康次君は四高生最後の夏を送るべく能登半島は滝港の隣り、一の宮の気多神社前の大鳥居の近く、日本海を眼下に見渡す浜屋敷や浜なすが乱れ咲く民家高橋邸に入れてもらった。学習に明け暮れる

された丘陵に一棟の竪穴式住居が復元されている。丘陵眼下に大海川、東に秀峰宝達山、西に日本海が見渡せるロケーションは、弥生末期の混乱の中で身を寄せ合っ暮らす弥生人の知恵の選択であったことが窺える。

毎日、ある日東京から四十分、ある日大阪から四十分、来客として加わって、何でも話が面白いので家のなか賑やかになって日増しに親交度も高まり、更にその叔父さんと家主の叔母さん

「栗野先生のぶらり石川」  
— その7 —



東善作生誕地の碑



七塚町の民宿・食事「やまじゅう」

縁者の若い娘さんも入って避暑地の雰囲気はいやが上に盛上がった。

二十歳はわが青春まつた中。二人共に夢多い人生の幕開けが始まり、やがて夏の終わりが来て別れの時、叔父さんこと、かの紳士ご秘蔵のロシアの民族衣装ルパシユカ(上着)を頂戴したが、少しも偉振ること



料理は次々に運ばれ食べきれないほど

歯科学術講演会のご案内

**PMTCと口腔ケア**

professional mechanical tooth cleaning

講師：内山 茂氏 (埼玉県所沢市開業)

開催日時：11月3日 (祝) 午前9時～午後1時

開催場所：金沢都ホテル 7階 鳳凰の間

参加対象：歯科医師、歯科衛生士、スタッフ

参加費：会員1,000円、会員スタッフ1,000円  
非会員5,000円、非会員スタッフ2,000円

続いで訪れたのは、宿場のなごり、口銭場跡である。藩政時代から能登街道の宿場町として栄えたこの地は、通過する旅人から通行税として口銭を徴収した役所跡である。

この一画が公園になっており、偶然にも鶴彬 (つる・あきら) の川柳を刻んだ石碑を発見した。二十九歳で病没した昭和の啄木とも評された反戦川柳家の碑に巡り会えるとは、ラッキーである。「枯れ芝よ団結をして春を待つ」と刻まれた石碑の横にしばし佇み、「手と足をもいだ丸太にしてかえし」「ふるさととは病といっしょに帰るとこ」というプロレタリア川柳を思い出し、幾多の弾圧に耐えた若き活動家の魂に触れたひと時であった。

# 石川県医事文化史跡めぐり

〈53〉

## 加賀藩の秘薬 ——金地の置看板——

多留 淳文 (日本医史学会評議員)  
金沢市・内科



加賀藩の秘薬の置看板  
(福久屋石黒伝六氏旧蔵、160×180cm)

藩政期、「加賀は天下の書府」(新井白石)との秘薬もその一つの表れ  
言われたように、医事文化においても加賀金沢藩は全国的にも高い水準で文化水準を生かして、一

般民家の保健と藩財政維国の医書「和剤局方」巻六、  
持のために町年寄クラス「万病回春」などに収載  
の薬種商に秘薬の処方と製法を伝授し、製薬販  
売権を与え、利益の還元を図ったのである。その  
様子は、豪華な金地の置看板(写真)に往時を偲ぶことができる。この実物は岐阜県羽島郡川島町のエイザイ工場内の内藤記念くすり博物館に寄託展示されている。同様な置看板は、金沢市内所々に残っている。  
ここで、加賀藩の秘薬について触れておこう。加賀藩の秘薬というと、加賀藩が独自に開発または伝来した民間薬のように思われがちだが、処方内容を調べると、実は中

## 会員リレーエッセイ

◆8◆

### わが家に「あえの風」

(幸せを呼ぶ海風)吹く

栗野 利雄 (金沢市・内科)

今年八月八日は、ふとしたことから命を落としました。亡き妻の二十五回忌であった。生前、親交のあった方々に集まってもらい、お寺で法要を営み、その足で皆で金沢から和倉温泉の「あえの風」ホテル(以前のサンかがや)へと席を移して小宴を張ることにした。  
医院開業から五十周年の意味も含めて、来し方行く末を振り返る。山あり川あり谷ありの人生を渡って来て、能登のいで湯に骨を休めるのも一興か。ここにしばらくソフトラッキングできたという安息感と感慨にふけていたのも束の間、こんなに人が集まるのは容易なことではないと初めて気付いた。このあたりで一旦停止と洒落ている場合ではない、か

えって新たな試練が待っていると感じた。しかしこは一つの節目として、永らくお世話になった方々のご恩義の万分の一にも報いねば...、少しは罪ほろぼしができただろうか。手応えはまだない。亡き妻の女学校時代の旧友からの感謝状を買って感涙したのが関の山、その後も幾多のお礼の電話もいただいた。  
昔の従業員、親戚、孫たちの歓声、叫声、歌声、カラオケバーと、能登路の一夜は安穩に更けていった。  
戦争の二十世紀、ほろ苦い人生の味。八十五歳の疾風と怒濤、狂躁と酩酊ほど佳びしいものはない。何はともあれ、盛者必衰、会者定離、生老病死を説く仏教の四門観は、宿命的諦観であり諸人の避けて通るのを許さない掟のようなもの。それを今、近代科学が拓いた遺伝子レベルで解明しようとする二十一世紀が間近に迫っている。いわゆる生命の神秘を操る遺伝子が人生をとり仕切る世紀の出現なのである。人間の寿命もまた、遺伝子が支配する。自己とは何ぞやと叫びたくなる、わが八十五歳の心境である。  
釈迦の教示である輪廻の思想も、すでに古く三千年前にこれを裏付け示唆していたのである。釈迦は

生物が娑婆に転生する時、たとえば、お前は犬になつてゆけとか、君は人間界に生まれよとかいう風を選んで選別している。その中に、さらに善因善果悪因悪果と因果応報の法則が入りこんでいるので、人生はますます複雑混沌の度を高める。生命は永遠に続いて、佛界、人間界、畜生界へと転生輪廻する。  
ノストラダムスの預言も今や色褪せ、コンピューター二千年問題も世紀末の色合に融けて喧(かまびす)しい時代に、グローバルな生命の諸現象が一元論的に今や遺伝子レベルで解明されようとする世界の夜明けが来るのではないかの予感がしきりである。しかし私個人については今、「あえの風」が吹き終わったが、次に吹くのは「無常の風」であるのは必至である。

## 会員リレーエッセイ

### 原稿募集中心

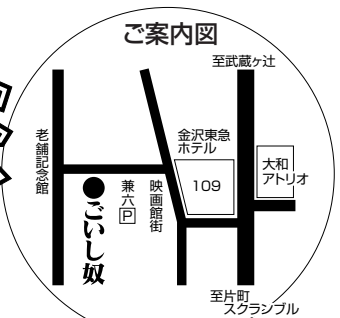
会員の先生、奥様、スタッフの方々の原稿を募集しています。旅行記、趣味など、テーマは問いません。協会事務局までFAX・電子メールなどでお送り下さい。字数は八百〜千二百字程度で。

保険医協会のグルメが自信をもってお勧めする

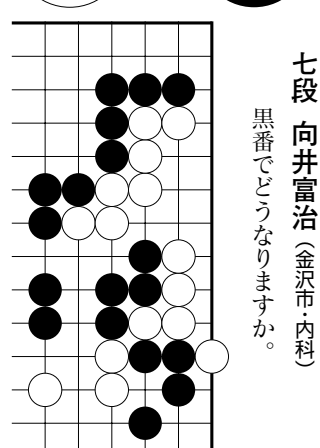
# 秋の食べ歩き会

- とき 1999年10月29日(金) 午後7時15分~9時
- ところ ごいし奴 本店  
金沢市片町2丁目10の30 電話(076)262-5148
- 会費 お一人様 10,000円 当日、お持ちください。
- 申し込み 10月20日までに保険医協会事務局へ電話、FAX、E-mailにてお申し込みください。定員に達し次第、締め切らせていただきます。

〈主催〉石川県保険医協会  
〒920-0902 金沢市尾張町1丁目9番11号  
TEL:076(222)5373 Fax:076(231)5156 E-mail:iskw-sugino@doc-net.or.jp



## 碁



出題者 七段 向井富治(金沢市・内科)

(解答は3面にあります)